

○施策の目標値と令和元年度実績との比較及び評価・検証

数値目標に対する評価

A:	予定どおり(又はそれ以上に)、十分に達成されている。
B:	概ね達成されている。
C:	あまり達成されていない。

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	計画期間					目標 (令和7年度末)	目標値設定の考え方
				R元						
				実績	対目標値	評価	進捗状況	今後の方向性(考え方)		
① 1人当たり医療費伸率	0.9%	2.4%	4.1%	2.9%	→	B	概ね順調である	ジェネリック医薬品使用率の向上や保健指導の強化等の対策を引き続き進める。	2.1% 以下に抑制	健全化取組前の伸び3.1% (H24~28平均)の7割に抑制
② 特定健康診査受診率	30.8%	26.6%	33.7%	34.3% (見込)	→	C	順調でない	対象者に応じた内容の勧奨通知を発送する等、特定健康診査受診率向上に努める。	60%以上	国の目標 (第三期特定健康診査等実施計画)
③ 特定保健指導受診率	37.8%	38.4%	41.6%	35.8% (見込)	↘	C	順調でない	未利用者に対する再勧奨通知の発送や訪問電話による勧奨を実施する等、保健指導実施率向上に努める。	60%以上	国の目標 (第三期特定健康診査等実施計画)
④ ジェネリック医薬品の利用状況 (数量シェア)	74.7%	78.9%	82.2%	84.1% (見込)	↗	A	順調である	差額通知の送付により、後発医薬品の利用促進に努める。	80%以上 (H32末までに80%以上)	国の目標 (経済財政運営と改革の基本計画 2015)
⑤ 人工透析患者割合	0.49%	0.52%	0.52%	0.54%	→	B	概ね順調である	糖尿病や高血圧、慢性腎臓病等生活習慣病発症予防・重症化予防に努める。	0.6% 以下に抑制	H25~27の患者数平均伸率を 2分の1に抑制
⑥ 収納率(現年度分)	89.69%	90.33%	90.91%	91.49%	↗	A	順調である	預金の電子照会による全滞納者の資力調査ができる銀行を拡充するなど、収納率向上に努める。	91%以上	同規模中核市(※)のH27平均以上
⑦ 収納率(滞納繰越分)	19.49%	20.47%	21.13%	22.36%	↗	A	順調である	預金の電子照会による全滞納者の資力調査ができる銀行を拡充するなど、収納率向上に努める。	23%以上	同規模中核市(※)のH27平均以上
⑧ 口座振替割合	37.18%	36.14%	35.94%	34.96%	↘	C	順調でない	年金特徴への移行により利用者が減少傾向にあるため、加入手続者に対して利用促進に努める。	42%以上	同規模中核市(※)のH27平均以上

↑
矢印が上向きは目標達成、または、目標に近づいている